

会議録

会議の名称	令和3年度第2回加東市まちづくり推進市民会議		
開催日時	令和3年11月26日(金) 14時から15時40分まで		
開催場所	市役所 201会議室		
議長の氏名 (座長 梅 野 巨 利)			
出席及び欠席委員の氏名			
〈出席委員〉			
・ 繁 本 泰 孝	・ 古 田 照 代	・ 山 本 貴 也	・ 吉 田 亘 秀
・ 梅 野 巨 利	・ 須 田 康 之	・ 立 川 さ お り	・ 依 藤 栄 一
・ 井 上 綾 乃	・ 北 嶋 照 子	・ 黒 崎 和 子	・ 平 川 米 一
・ 村 上 加 奈 子			
〈欠席委員〉			
・ 坂 本 泰 三	・ 後 藤 和 也	・ 田 尻 信 生	・ 南 椋 太
出席した職員の氏名及びその職名			
〈事務局〉			
・ まちづくり政策部長 小林勝成	・ まちづくり政策部企画政策課長 下岡正裕		
・ まちづくり政策部企画政策課副課長 高田 篤	・ まちづくり政策部企画政策課係長 村上計太		
〈事務局以外〉			
・ 総務財政部長 服部紹吾	・ 総務財政部総務財政課長 西山卓良		
・ 総務財政部管財課長 楮本俊也	・ 総務財政部税務課長 杉本亜弥子		
・ 総務財政部防災課長 三木秀仁	・ 市民協働部長 土肥彰浩		
・ 市民協働部市民課長 稲岡孝泰	・ 市民協働部市民課副課長 岸本万里子		
・ 市民協働部保険医療課長 片嶋美紀	・ 市民協働部保険医療課副課長 藤原敬子		
・ 市民協働部生活環境課長 陰山芳輝	・ 市民協働部生活環境課副課長 藤原義守		
・ 市民協働部人権協働課長 西山 太	・ 市民協働部人権協働課係長 藤原優子		
議題、会議結果、会議の経過及び資料名			
1 議題及び会議資料			
第2次加東市総合計画前期基本計画の総括について			
【資料】第2次総合計画 前期基本計画 総括シート〔政策Ⅲ・Ⅸ〕			
2 会議の経過 別紙(第2回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過)のとおり			

令和4年1月7日

座 長 梅 野 巨 利
副座長 山 本 貴 也

(別紙) 第2回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
	1 開会 2 報告・協議事項等 第2次加東市総合計画前期基本計画の総括について ○政策Ⅲ主要施策(12)～(14)の一次評価内容について担当部署から説明 【質疑応答等】
座長	◆主要施策(12) 廃棄物の減量・リサイクルの推進と処理体制の効率化 ・家庭ごみ排出量が県内最少であるのは素晴らしい成果である。一方で事業系のごみ排出量は21位であるが、どのようにして事業所にごみの削減を働きかけるのか。
副課長	・事業系の廃棄物は、産業廃棄物と一般廃棄物に区分されるが、21位というのは一般廃棄物のことである。これについては、市の広報やケーブルテレビなどでごみの削減を呼びかけ、従業員が削減の意識を持つことによって削減可能と考えている。
委員	・協働の取組の「3R」とは何か。
副課長	・リデュース(減量)、リユース(再使用)、リサイクル(再資源化)のことである。
委員	・リサイクルに関する取組としては、どのような事をしているのか。
副課長	・各種団体に補助金を出し、資源ごみ回収を促進している。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔異議なし〕と呼ぶ者あり
座長	・二次評価もBとする。
	◆主要施策(13) 地球環境の保全に向けた取組の推進
委員	・温室効果ガスの抑制とエコ診断はどのような関係か。
副課長	・例えば、うちエコ診断をすることにより家庭での電気使用量を個人が見直すことによりCO₂を削減し、温暖化を抑制するということである。
委員	・うちエコ診断の受診促進は、市民に広報しているのか。
副課長	・数年前まではしていたが、最近はしていない。
委員	・かとう環境パートナーシップ協定締結事業者にごみの削減に関する指導はしているのか。
副課長	・ごみの削減だけでのお願いはしたことがないが、そういったこともしていくことはできる。
委員	・環境に関するイベントには興味がある人しか参加しないので、学校の授業で環境教育をしてはどうか。SDG_sが浸透しているが公立学校でそういったことを勉強したと子どもから聞かない。
課長	・小学4年生の社会科で環境学習をしている。学校にゴミ収集車を持っていき、加東市のごみはどう処理されていくのか、というようなことを学習している。今後も市役所から学校に出向いて環境についての講座を進めていきたいと考えている。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔異議なし〕と呼ぶ者あり
座長	・二次評価もBとする。
	◆主要施策(14) 良好な生活環境等の確保に向けた取組の推進
座長	・総合評価をBとしているのはなぜか。
副課長	・事務事業の犬等対策事業と消費者行政推進事業について、評価をBとしていることによるものである。犬等対策事業では予防接種率は全国や県の平均を上回っているが、狂犬病の予防ということでは100%を目指さないといけないし、消費者行政推進事業では相談件数が増え、被害件数は減っているが、被害件数0を目指して取り組んでいるからである。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔異議なし〕と呼ぶ者あり

座長	・二次評価もBとする。 ○政策Ⅲ主要施策(15)の一次評価内容について担当部署から説明
委員	◆主要施策(15) 総合窓口サービス等の充実
副課長	・外国人の窓口対応について、現場を見たことがないため、状況を教えてほしい。
委員	・企業が通訳を連れてくることもあるし、個人で来庁されたら音声自動翻訳機を使用している。昨年度以降は新型コロナウイルスの関係で入国等が減っている ので個人で来られることが多くなっている。
事務局	・マイナンバーカード交付率が目標値を大きく超えているが、目標値を設定し直 すようなことや、健康保険証としての利用率といった新しい指標は設定しなし のか。
委員	・前期基本計画には反映させず、これから策定する後期基本計画で検討する。
副課長	・マイナンバーカードに関する業務について、どのような内容を委託して、情報 漏えい対策としてどのような事をしているのか。
座長	・マイナンバーカードの申請と発行は加東市で行い、カードの作成に関して委託 している。委託先は法律に基づき設置されている地方公共団体情報システム機 構であり、国と地方公共団体が共同で運営しているため、情報漏えいの可能性 は極めて低いと考えている。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。 ○政策Ⅲ主要施策(16)の一次評価内容について担当部署から説明
委員	◆主要施策(16) 医療保険制度等の充実と適正運用
課長	・福祉医療制度について、なぜ未申請の受給対象者に再申請の案内ができなかつ たのか。
委員	・他の業務を優先させたためである。
委員	・来年に向けて再案内ができるように業務を整理してもらいたい。
課長	・なぜ国民健康保険税の収納率と他の市税の収納率に約20%の差があるのか。
委員	・国民健康保険の加入者には未就業の方も多くいることもあるが、大きな要因と しては、国民健康保険税を除く市税は令和2年度課税分のみでの収納率を示して いるが、国民健康保険税については過去の課税分も含めた収納率を示している ことによる。
副課長	・国民健康保険税の収納率が70%台であれば、国からの普通調整交付金は減額 されているのか。
座長	・国民健康保険については、平成30年度から広域化されており、加東市に直接 交付金が入るのではなく兵庫県全体で受け入れているので、収納率がどの程度 影響しているのかは把握していない。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。 ○政策Ⅲ主要施策(17)～(19)の一次評価内容について担当部署から説明
委員	◆主要施策(17) 協働のまちづくりによる地域の活性化
係長	・輝く加東まちづくりコンソーシアムの目的は、まちづくりということか。
委員	・そのとおりである。
課長	・全体の取り組み内容から総合評価はAで良いのではないか。
事務局	・まちづくりに向けた地域の組織強化に関して平成30年度は準備段階であった ことによりB評価としている。
座長	・担当部署は厳しく評価している。総合評価に関しては、委員の皆様の判断にお 任せする。
座長	・準備段階ということは、達成しているということでもある。一次評価はBであ るが、A評価で良いか。 〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価は、Aとする。 ◆主要施策(18) 人権施策の総合的推進 ※質疑応答なし

座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
座長	◆主要施策(19) 男女共同参画社会の推進 ※質疑応答なし ・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
委員	○政策Ⅸ主要施策(51)、(52)の一次評価内容について担当部署から説明 ◆主要施策(51) ICTの利活用による市民サービスの安定化と利便性の向上 ・国ではデジタル庁が設置され、今後ますますデジタル化が進む。3つの協働の取組については全て「引き続き取り組む」の○ではなく「さらに取組を充実させる」という◎にしてはどうか。 ・事務事業のICT利活用推進事業については方向性を◎としている。地方公共団体のICT化、デジタル化については加速していくことは間違いないため◎でもよいのかもしれない。 ・◎に変更する。 ・事務事業の情報システム災害時業務継続事業について、令和3年度以降人件費が増加するとのことであるが、システムについてもある程度の予算を確保しておくべきではないか。 ・この事業の予算はICTの専門知識を有するところに外部委託するための予算で、システムに関する予算はICT利活用推進事業に計上しており、今後、増加すると見込んでいる。 ・災害時の業務に関してのみ、運用していくということか。 ・日々のトラブルも含めて対応し、システムを安定稼働させなければならない。ICTの支援員については、そういったことにも対応してもらっている。災害時の業務継続については、計画に基づいて職員が中心とならなければならないため、大きな予算を必要としない。 ・補助金の手続きについて、交付申請や交付決定など何回もやり取りをしなければならないが、簡素化できないのか。 ・補助金の手続きの簡素化は難しい部分があるが、令和2年度には申請書などの押印を省略できるようにした。 ・後期基本計画へ向けた方向性は◎として取り組むとして、一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
委員	◆主要施策(52) 健全な財政運営 ・将来負担比率が目標を下回った要因は何か。 ・指標を設定した時点より、小中一貫校などの公共施設の整備費用が軒並み増大しており、将来の投資的経費の見込みが低かったことが大きな要因である。加東市の将来負担比率は県内では最も良い数字であり、目標値が高すぎたと判断している。 ・最終的な将来負担比率はどのくらいを想定しているのか。 ・小中一貫校を3校整備することもあり、多額の借入れを行う必要があるが、マイナス（将来負担がないという状況）を維持したい。 ・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
委員	○政策Ⅸ主要施策(53)の一次評価内容について担当部署から説明 ◆主要施策(53) 適正な財産管理と契約事務の推進 ・事務事業の財産管理事業の評価がBとなっているが、総合評価のAには影響しないのか。 ・国の指針に基づいて公共施設等総合管理計画を策定し、順次改訂しているが、国の求める水準に至っていないのではないかという部分があるためB評価とし

座長	ているが、加東市としては適正に施設を管理できていると判断している。 ・一次評価はAであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もAとする。 ○政策区主要施策(54)の一次評価内容について担当部署から説明
座長	◆主要施策(54) 市税の適正課税の推進と収納率の向上 ※質疑応答なし ・一次評価はAであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もAとする。 ○政策区主要施策(55)、(56)の一次評価内容について担当部署から説明
座長	◆主要施策(55) 交通安全・防犯対策の推進 ※質疑応答なし ・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。 ◆主要施策(56) 消防・防災力の充実強化 ※質疑応答なし
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。 3 その他 今後の会議開催日程について ○事務局から説明 4 閉会